

中学歴史プリント（過去問類似）

平安時代

名前

得点

/10

問1 平安時代中期、遣唐使の派遣が停止されたことなどを背景に、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が栄えました。この時期に醍醐天皇の命によって編纂された、日本で最初の勅撰和歌集を次の中から選びなさい。（2026年 岐阜公立入試 類似）

1. 古今和歌集 2. 万葉集 3. 新古今和歌集 4. 山家集

問2 平安時代中期、藤原氏は自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を天皇に立てることで権力を握りました。天皇が幼いときには摂政、成人してからは関白という役職に就いて、政治の実権を握ったこの政治形態を何とといいますか。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 摂関政治 2. 院政 3. 執権政治 4. 親政

問3 701年に制定された、唐の法律にならって全国を治めるための仕組みを明確にした法典を何とといいますか。この法典の完成により、二官八省の官制や租・庸・調などの税制が整い、天皇を中心とした中央集権的な国家体制が確立されました。（2024年 長崎公立入試 類似）

1. 大宝律令 2. 十七条の憲法 3. 御成敗式目 4. 武家諸法度

問4 894年、唐の国力が衰えていることや往復の航路が危険であることを理由に、それまで約200年続いていた遣唐使の派遣を停止するよう宇多天皇に建議した人物は誰ですか。（2026年 福島公立入試 類似）

1. 菅原道真 2. 藤原頼通 3. 平清盛 4. 聖徳太子

問5 日宋貿易を推進した人物と、貿易の拠点となった港、および主な輸入品の組み合わせとして正しいものはどれか。（2022年 神奈川県公立入試 類似）

1. 平清盛 — 大輪田泊 — 宋銭 2. 足利義満 — 堺 — 銅銭 3. 北条時宗 — 博多 — 鉄砲 4. 源頼朝 — 敦賀 — 勘合

問6 平安時代、藤原道長やその子の頼通は、自分の娘を天皇のきさきとし、その子供を次の天皇に立てることで、天皇の外祖父として政治の実権を握りました。このような政治の形態を何とといいますか。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. 摂関政治 2. 院政 3. 執権政治 4. 公武合体

問7 平安時代初期、桓武天皇の命を受け、東北地方で抵抗を続けていた蝦夷（えみし）を抑えるために派遣された人物は、何という役職に任命されましたか。（2023年 愛媛公立入試 類似）

1. 征夷大將軍 2. 太政大臣 3. 防人 4. 征西大將軍

問8 12世紀半ば、平安時代の朝廷内では、天皇や上皇、摂関家の間での激しい権力争いが続いていました。これらの争いを武力で解決するために、平清盛や源義朝といった武士の力が利用された保元の乱や平治の乱の結果、社会にどのような変化が訪れましたか。（2024年 奈良公立入試 類似）

1. 貴族が政治の主導権を完全に取り返し、律令制が強化された 2. 武士が朝廷の権力争いを解決する力を持つ存在として、政治への影響力を強めた 3. 仏教勢力が朝廷から完全に排除され、神道中心の政治へと移行した 4. 地方の農民が武装を解除し、荘園制が崩壊して一国一城の主となった

問9 平清盛が、瀬戸内海の航路を整備し、大輪田泊を改修してまで日宋貿易に力を入れた理由の一つに、当時の中国（宋）の進んだ文化を取り入れることができました。この貿易によって日本にもたらされた輸入品の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 福島公立入試 類似）

1. 宋銭・陶磁器・書籍 2. 硫黄・刀剣・漆器 3. 生糸・鉄砲・キリスト教 4. 綿織物・朝鮮人参・青磁

問10 平安時代末期の東北地方において、奥州藤原氏が平泉に中尊寺金色堂などの壮大な寺院を建立した背景として、最も適切なものはどれですか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）

1. 長引く戦乱で亡くなった人々を敵味方の区別なく供養し、仏教による平和な理想郷を築こうとしたため。 2. 鎌倉幕府の軍事的な圧力を退けるため、強固な城郭を兼ねた宗教施設を整備する必要があったため。 3. 朝廷から派遣された国司に対抗するため、独自の律令制度を確立しようという政治的意図があったため。 4. 大陸との貿易によって得られた膨大な富を誇示し、宋の建築様式をそのまま日本に再現しようとしたため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 古今和歌集	藤原氏が摂関政治を行い権力を握った平安時代中期には、それまでの唐の影響を消化した日本独自の文化が成立しました。この流れの中で、漢字を簡略化した「かな文字」が普及し、これを用いて編集された最初の勅撰和歌集が、紀貫之らによって選ばれたこの作品です。
問2	答え 1 摂関政治	藤原氏が天皇の「外戚（母方の親戚）」という立場を利用して、政治の主導権を握った体制を指します。11世紀の藤原道長・頼通の親子の時代に全盛期を迎えました。のちに上皇が政治を行う「院政」や、鎌倉時代の「執権政治」と混同しないよう注意が必要です。
問3	答え 1 大宝律令	文武天皇の時代に完成したこの法典により、日本は法に基づく統治を行う「律令国家」としての歩みを本格化させました。それまでの慣習的な統治から、文書による組織的な行政運営へと移行した点が大きな転換点です。選択肢にある武家諸法度は、江戸時代に幕府が武士を統制するために出したものであり、この時代のものではありません。
問4	答え 1 菅原道真	唐の政治的混乱や衰退を背景に、多大な費用と危険を伴う遣唐使の中止を提案しました。この遣唐使の停止は、その後の日本独自の文化である「国風文化」が発展する大きな要因となりました。
問5	答え 1 平清盛 — 大輪田泊 — 宋銭	日宋貿易は、平氏の全盛期を築いた平清盛によって行われました。清盛は現在の神戸市にあたる大輪田泊を国際貿易港として整備し、宋から宋銭や陶磁器などを輸入しました。足利義満が関わったのは室町時代の日明貿易であり、鉄砲の伝来は戦国時代、勘合（符）は明との貿易で偽造を防ぐために使われた道具です。
問6	答え 1 摂関政治	藤原氏は、天皇が幼いときには「摂政」、成人した後には「関白」という官職に就いて政治を動かしました。道長はこの地位を世襲化し、藤原氏の全盛期を築きました。これに対し、天皇が退位した後には上皇として政治を行うことを院政、鎌倉幕府で北条氏が行った政治を執権政治と呼びます。
問7	答え 1 征夷大将軍	桓武天皇は、律令制度の立て直しと領土の安定を目的として、北方の勢力である蝦夷を帰順させようとしてしました。坂上田村麻呂は、その最高指揮官として現在の岩手県にある胆沢城（いさわじょう）を築くなど、東北地方における支配の拡大に大きく貢献しました。
問8	答え 2 武士が朝廷の権力争いを解決する力を持つ存在として、政治への影響力を強めた	保元の乱や平治の乱は、もともと朝廷内の地位を巡る対立から始まりましたが、その解決に武士の軍事力が不可欠であることが示されました。これにより、それまで貴族の警護役としての側面が強かった武士が、中央政治の方向性を決定づけるほどの影響力を持つようになり、後の平氏政権や鎌倉幕府の成立へとつながる契機となりました。
問9	答え 1 宋銭・陶磁器・書籍	日宋貿易において、日本は宋から宋銭（銅銭）、陶磁器、絹織物、書籍などを輸入しました。特に宋銭は日本国内で広く流通し、経済に大きな影響を与えました。一方、日本からの輸出分は硫黄、金、木材、刀剣などが主でした。
問10	答え 1 長引く戦乱で亡くなった人々を敵味方の区別なく供養し、仏教による平和な理想郷を築こうとしたため。	奥州藤原氏の初代清衡は、前九年の役や後三年の役という激しい戦乱を経験しました。清衡は、その戦いで犠牲になったすべての生命を供養し、阿弥陀如来の力によって東北地方を仏の住む浄土（平和な世界）にしようと思い、中尊寺の建立を進めました。この浄土信仰が平泉の文化の根幹となっています。